

「私に目を留めてくださる主のあわれみ」
ルカの福音書 1:46-55(宣教要旨)
説教者 A.Na



アドベントの第三週を迎え、イエス・キリストがこの世に
来られた意味を考えつつ、暗
闇をさ迷い歩く私たちのもと
に来てくださった、希望であ
られる主を共に見上げ、今週
も生かされていきたいと願います。

《私の救い主への賛美(1:46,47)》

旧約において「救い主である神」という表
現は一般的(詩 25:5,イザヤ 12:2)である。マリ
アも、旧約の多くの人物と同様に、イスラエ
ルの救いを自分の救いとして受け止めていた
のではないか。過去も現在も、一貫した神の
救いのみわぎの上に成り立っている。たまし
い・霊=人格、自分自身のすべて、全存在をも
ってマリアは神をほめたたえた。

《私に目を留めてくださる(1:48)》

自分が神の特別な関心の対象になるとは、
全く思いもせず、想像もしていなかったマリ
ア。御使いのことば(1:28,30,35)が続く中、マ
リアは整えられていき、私は主のはしたため
であるという自己理解を持ち(38)、この卑しいは
したためである私に目を留めてくださった神へ
と心を向け、感謝し賛美する。

《力ある方、聖なる方(1:49)》

この世界のすべてを造られ、豊かなあわれ
みをもってイスラエルを救い出された唯一の
真の力ある神が、「処女であり、ただの人間で
あるマリアが、聖なる神の子を宿す」(1:35,37)
という、人間には到底不可能と思える、この
大きなみわぎをなして下さる。

神が聖である…旧約聖書の至る所(詩
99,111 等)に記され、また神ご自身が聖である
と語られている(レビ 11:44,45,19:2,20,7)。聖…
神だけがもつ性質。他とは全く違い区別され
る至高の支配者であることを意味する。

《主のあわれみ①(1:50)》

あわれみ…旧約で神が契約の民に対して、恵
み深く誠実な愛をもって関わられるというこ
とを示す。

「代々にわたって」…永遠性を示す。神のあ
われみは、時間を超え変わらずに主を恐れる
者たちにあり続ける(出 34:6,7)。

「主を恐れる者」…主の命令を守る者(申
5:10,7:9)、主の教えに耳を傾け、主の臨在の前
に進み出る者(イザヤ 55:3)。

私たち主を信じ、主に従う者はみな、永遠
に神のあわれみを受けると約束されている。

《主のさばきとあわれみ②(1:51-53)》

神である主がご主権を持ち、ご自身でみわ
ぎをなされる。そのみわぎは力強く、主の御
腕は高い者を低くし、低い者を高くされる。
主が聖なる方であり、ただしく人をさばかれ
ること、これこそが主のあわれみであり、私
たち信仰者に希望を与えるものである。

権力をも動かす神の偉大さがあり、そして、
低くへりくだる者、神を恐れる者たちを高く
引き上げ、飢えている者には良いもので満ち
足らせてくださる。

《主のあわれみ③(1:54-55)》

主はあわれみ深いお方。イスラエルの救い
を約束された神は、神ご自身がされた契約を
守られる。現代を生きる私たちにも、この約
束は与えられていて、あわれみを受け続ける。

世界のはじまりから今に至るまで、神の救
いのご計画と、契約の永遠性は確かであり、
今も後の時代にも豊かに広がり続ける。あわ
れみ深い神は、いつも私たちに忘れずにいて
くださり、あわれみを受けるにふさわしくな
い私を救い出してください(イザヤ 49:15,16)。

《主への賛美へ…》

唯一の聖であられる神は、今日、今の私た
ちに目を留め、確かにあわれみを与えてくだ
さる。救い主イエス・キリストを待ち望むこ
の日、全人格、全存在をもって、共に神をほ
めたたえましょう。